

SAGAMI Girls

見つけよう、私。
はじめよう、未来。

令和7年度入学 学校案内
School Guide 2025



相模女子大学高等部

Sagami Women's University High School

変動を続ける時代の中で、 「私の未来」を発見し、 思い描く道を歩き始めるために

これから始まろうとする高校生活。

勉強、部活動、学校行事、自主的な活動……

それぞれに全力で取り組むことで、

まだ気づけていない自分の可能性を発見してほしい。

大きな変化、未曾有の事態にあっても

自分らしく対応できる指針を手にしてほしい。

そのための環境を準備し、寄り添いながら、

未来を探るあなたの大切な3年間で全力でサポートします。

ようこそ、相模女子大学高等部へ。



好奇心・探究心を胸に

高等部校長
武石 輝久



変化し続ける社会の中で、学校の存在価値、役割も大きく変わろうとしています。学校全体が多様性を尊重し、安心・安全、信頼関係に溢れた「安全圏」になり、そこをベースとして、生徒たちには思い切って成長のために必要な領域に出て行く冒険をして欲しいと思います。

その過程には、困難、葛藤、失敗が満ちているかもしれませんが、しかし、本校で大切にしているのは「成功」ではなく「成長」。チャレンジも失敗もない成長などありません。お互いの失敗を認め合い、好奇心、探究心を胸に、未来に訪れるさまざまなライフステージのベースとなる「研鑽力・発想力・協働力」を相模女子大学高等部で培いましょう。

四季を体感できる、 緑豊かなキャンパス

学園に一步足を踏み入ると広がる、緑豊かな環境。

相模女子大学が擁する幼稚部から大学院までの

学舎が点在するこのキャンパスには、

ゆったりと穏やかな時間が流れています。

東京ドーム4つ分の広大な敷地に、

樹齢70年を超える銀杏並木や200メートルに及ぶ桜並木、

ビオトープ、学習用の農園や稲田などが、

多くの野鳥が生息しており、鳥獣保護区に指定されています。

また、グラウンドや芝生の広場など、

思いきり身体を動かせるスペースや施設も充実しています。



本校舎

中世ヨーロッパのロマネスク建築を思わせる本校舎は、周囲の自然とも調和したデザイン。伝統校としての気品を漂わせています。



教室

木目調で統一された、明るく広々とした教室。電子黒板、タブレット端末やWi-FiなどICT環境も整っています。全室に冷暖房を完備しています。



図書館

開放的な空間に、約4万冊の幅広い分野の蔵書が並んでいます。このほか、大学附属図書館も利用できます。



図書館棟ホール

約400名を収容できる多目的空間。授業や学年集会、部活動の発表など、さまざまな行事で使用しています。



和室

52畳の本格的な和室。床の間には掛け軸や季節の生花が飾られた、落ち着いた空間です。



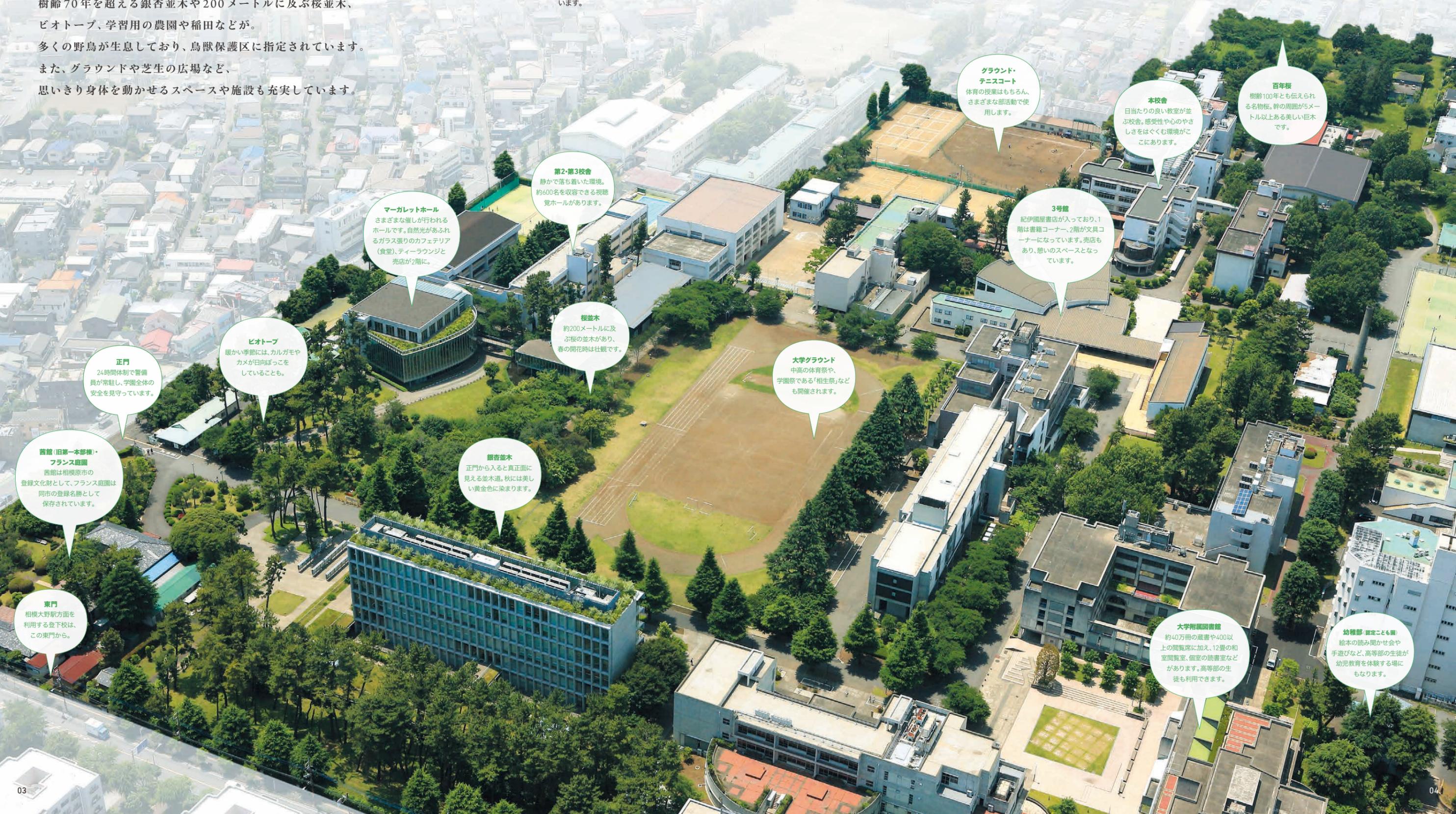
陶芸室

美術の授業では陶芸にも取り組みます。ろくろを使って制作した作品を、教員が大型窯で丁寧に焼き上げます。



ALセンター

放課後学習サポートプログラム「まなlab」(p.09)で使用する自習室。広々としたスペースで、集中して学習できます。



グラウンド・テニスコート
体育の授業はもちろん、さまざまな部活動で使用します。

本校舎
日当たりの良い教室が並ぶ校舎。感受性や心のやさしさをはぐくむ環境がここにあります。

百年桜
樹齢100年とも伝えられる名物桜。幹の周囲が5メートル以上ある美しい巨木です。

第2・第3校舎
静かで落ち着いた環境。約600名を収容できる視聴覚ホールがあります。

マーガレットホール
さまざまな催しが行われるホールです。自然光があふれるガラス張りのカフェテリア(食堂)、ティールウンジと売店が2階に。

3号館
紀伊國屋書店が入っており、1階は書籍コーナー、2階が文具コーナーになっています。売店もあり、憩いのスペースとなっています。

ビオトープ
暖かい季節には、カルガモやカマが日向ぼっこをしていることも。

桜並木
約200メートルに及ぶ桜の並木があり、春の開花時は壮観です。

大学グラウンド
中高の体育祭や、学園祭である「相生祭」なども開催されます。

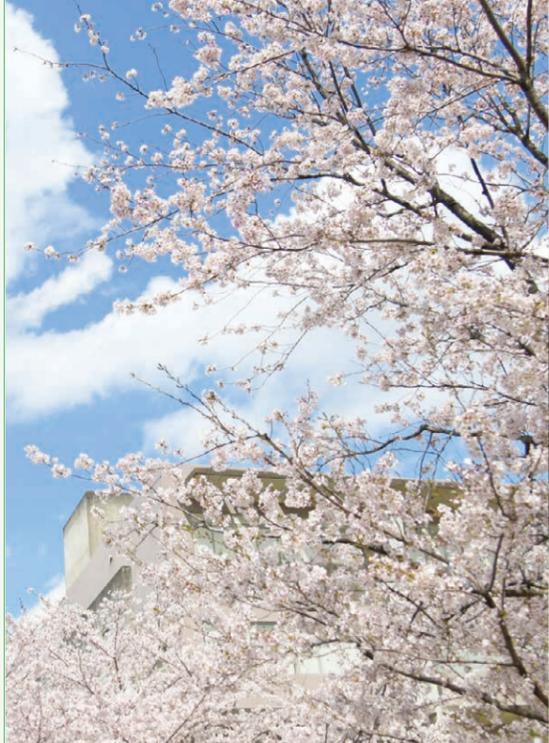
正門
24時間体制で警備員が常駐し、学園全体の安全を見守っています。

銀杏並木
正門から入ると真正面に見える並木道。秋には美しい黄金色に染まります。

舊館(旧第一本部棟)・フランス庭園
舊館は相模原市の登録文化財として、フランス庭園は同市の登録名勝として保存されています。

大学附属図書館
約40万冊の蔵書や400以上の閲覧席に加え、12畳の和室閲覧室、個室の読書室などがあります。高等部の生徒も利用できます。

幼稚部(認定こども園)
絵本の読み聞かせ会や手遊びなど、高等部の生徒が幼児教育を体験する場にもなります。



自分を知って夢をはぐくみ 目指す未来へと向かう、 そのために必要な 「確かな学力」を身につける

知識を身につけるだけでなく、
好奇心をもって自分なりに発想し、行動する。
仲間と意見を交わし、社会との関わりも広げていく……
その総合力こそが「確かな学力」。
しっかりと身につけられる環境がここにあります。

「自分とは?」「私の未来は?」を
安心して見つけられる場所、
生き生きと活動できる環境がここに
あります



創立125周年を迎える相模女子大学。総合学園の広々とした環境の中、高等部もまた女子校としての歴史を重ねてきました。しかし、「理想の女性像」という枠に生徒をはめたいとは考えていません。女子校ならではの教育環境を生かしつつ、一人ひとりが自分を知り、かけがえのない未来を模索できる。そんな学校生活を、生徒と教師がともに目指します。

コミュニケーションを大切に、のびのびと切磋琢磨できる

学業への地道な取り組みによって知識を身につけるだけではありません。互いに認め合いながら協力してアイデアを生み出し、努力と工夫で形にしていく……。コツコツと自分の歩幅で目標に向かい邁進することも、異なる文化や価値観に触れて視野を広げる機会を持つことも、教育において重要であると考えています。

生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを重視するのも特徴のひとつ。互いを励まし合いながら、それぞれに進んでいく生徒を応援します。誰もが安心できる場所、生き生きと活動できる環境としての相模女子大学高等部を、守っていきたくと考えています。



“サガジョらしさ”
は
さまざまに

協力して
アイデアを生み出す

みんなで取り組み、
個性を活かして創りあげる

文化祭、体育祭、
球技大会など

異なる価値観を大切に、
互いに尊重し交流する

さまざまな課外活動、部活動、
ボランティア活動など

地道に取り組む

日々の学習や活動を
積み重ねた上での
各種検定・コンテストへの
参加など



相模女子大学高等部の
スクールポリシーは
こちら

5つの柱で支える 相模女子の教育

豊かで奥行きのある教育を実現するために相模女子が築き上げてきた具体的な方策。生徒の一人ひとりが主役として取り組めるコースやプログラムが待っています。



コースの選択

一人ひとりの自己実現を支援する 4つの進路系統別コース

1

広い学びを通して社会に対する視野が広がれば、
将来のビジョンは変化していきます。

そこで、従来の「進学」「特進」の2コースを進化・発展させました。

「進路系統に応じた探究的な学び」を深められる4コースは、2年次から選択します。

学校は、生徒の自己実現を全力で支援していきます。



※各学年、進級時にコースを選択します(一部、成績の基準あり)。

特進

自らの進路を切り拓くために、常に挑戦する

変わりゆく大学入試に対応した学力を身に付け、自分の可能性を信じて国公立や難関私立の大学に挑戦したい生徒に適したコースです。より高い目標に向かい、全力で突き進みます。

アカデミック(文系・理系)

文理融合型学間にも対応
難関校への道を拓く

国公立大受験をメインに、難関私立大受験にも対応。現代社会の課題を広い視野から捉える目を養います。文理融合型の学間にも対応できるように、5教科を中心にバランスよく学びます。難関私立大学志望者には、3教科中心の履修も考慮。



鎌田さん

地球の環境保護に貢献したい! 理工学部志望です。

グローバル

国際社会に照準
イマージョン教育も導入

文系3教科を軸としたカリキュラムで学習します。英語については4技能に特化した複数の科目を設置し、ALTが副担任として英語漬け生活をサポート。現代社会の課題に対して「英語で探究・発信できる」レベルを目指します。



山上さん

英語オンリーデーあり! 会話力も伸ばせます。

進学

目標に向かって、安心してじっくり学ぶ

自分らしく充実した学校生活を送り、自信を持って大学進学に臨みたい生徒に適したコースです。多種多様な大学入試形態の中から自分に合ったものを選択し、じっくりと向き合っていきます。

ライフサイエンス

医療、栄養、環境……
理系分野に重点を

従来から志望者の多い医療系・栄養系に加え、農学、環境、メディアなど教科横断的な視点を養いたい生徒にも適したコース。本大学や他学と連携した理系分野の探究活動を通して、広い視野でものごとを科学的に考える力を養います。



松岡さん

理系科目も製菓も好き。科学に強いパティシエに!

リベラルアーツ

幅広く学びながら
じっくりと進路を模索

私立大学文系を中心に、教育、芸術、体育など多様な進路を想定したコースです。本大学や地域、企業と連携した探究活動に取り組むことで、将来の進路や自分の生き方を模索します。生涯にわたって主体的に学び続ける力や姿勢を養います。



山崎さん

「探究」活動にじっくりと取り組めるのがいい!

4つのコース、異なるポイント

	アカデミック(文・理)	グローバル	ライフサイエンス	リベラルアーツ
相模女子大学への推薦、確約併願	○	○	○	○
指定校推薦	×	×	○	○
学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜	○	○	○	○
プログレス選択科目(3年次)	×	◎	◎	◎
夏期・冬期・春期講習	◎	◎	○	○
学内予備校	○	○	○	○
海外研修、ターム留学等	○	○	○	○
部活動	○	○	○	○

◎:必修
○:希望者対象
×:なし



4つのコース、
カリキュラムは
こちら

「意欲」を刺激しつつ学力を伸ばす、
確かなサポート体制

生徒の適性や目標に合わせて選ぶことができる、
さまざまな学習サポートを行っています。
日々の授業を補完することはもちろん、多様化する大学入試への対応も
視野に入れたサポート体制を整えています。

「受験のプロ」による実践的サポート

・学内予備校

大学受験に向けて、より実践的な対策を。そんな生徒の要望に応えるべく、予備校での指導経験が豊富な「受験のプロ」を招いて講座を実施しています。英語の学力アップに重点を置きながら、昨年度からは3年生対象の5講座に加えて2年生対象の1講座も新たに開講。また、英検対策の短期集中講座も。通常の授業とは違う環境に身を置いての入試対策を、より充実させています。

【高2対象講座】

共通テスト対策英語

【高3対象講座】

大学入試対策現代文(評論文)

大学入試対策ハイレベル英語

大学入試対策英語

大学入試対策数学 IA IIB

看護医療系小論文

【全学年対象・短期集中講座】

英検対策(5日間)

*開講講座は変更されることがあります。

各自に合った放課後の学び

・放課後学習サポートプログラム

常駐の専属サポーターが放課後の時間割作成や勉強の仕方をアドバイスし、チューターが個別指導をするシステム「まなLab(マナラボ)」。



仲間と一緒に集中して取り組む

・特別講習

夏季・冬季・春季の長期休業中に実施する、主要5教科に焦点を絞った集中講習です。基本に立ち返っての苦手科目の克服から受験対策としての入試問題チャレンジまで。仲間とともに切磋琢磨します。

・勉強合宿

高1特進コースの生徒が、学校を離れて静かな環境で集中して学習に取り組みます。国語・数学・英語の3教科の学習はもちろん、仲間と切磋琢磨して勉強漬けの4日間を乗り越えた経験が大きな自信となります。(高2・高3の希望者も参加可能)



受験対策の最優先科目、
「英語」を学力アップ
させる講座を

石川浩久キャリア支援部長

大学受験において、どの教科の学力を伸ばすべきか、何が足りないかを検討していく中で、英語の

実力をまず高めることが有効ではないかという仮説を立て、英検2級相当の英語力を持つ2年生約30名を対象に、2学期から英語の講座を試験的に開講しました。その後、共通テストの「英語」の問題を解いてもらったところ、かなりの成果があったのです。そこで、2年生1学期から「共通テスト対策英語」の講座を新設することに。英語の実力をいち早く養い、それにより生まれた余裕を他教科の対策に充てて受験の可能性を広げる、という方針で進めています。



幼稚部*から大学院までが揃う
「総合学園」ならではの特別プログラム

年齢を超えた交流を通して、社会生活に必要な
コミュニケーション能力、発想力をはぐくみます。これらの体験が
「進路選択の判断材料のひとつになった」と語る先輩も少なくありません。

*認定こども園 相模女子大学幼稚部

大学の講義を進路選択のヒントに

・サガジョの学び講座

相模女子大学の教授陣による講義を体験できる連携プログラムで、複数ある中から興味を持てる講義を選択して受講します。こうした経験を卒業後の進路を考えるための一助としてもらいたい。そんな狙いもある取り組みです。



学問の現場を訪ねて、大学生生活を覗き見る

・研究室訪問

大学の研究室を訪問して、専門分野や卒業論文のテーマなどについて詳しく話を聞ける機会です。学問の現場に身を置いてみることで、大学生生活の一端をイメージできます。



園児とともに過ごすという貴重な経験

・預かり保育ボランティア

保育士や幼稚園教諭を目指す生徒を中心に、放課後の時間を利用して預かり保育のお手伝いを行っています。幼稚園教諭の指導のもと、教育現場を体験できる貴重な機会。繰り返し参加することで、園児たちの成長に立ち会うこともできます。



大学生と一緒に地域貢献

・地域貢献プロジェクト

福島県本宮市や三重県熊野市を訪問し、田植えを体験する貴重なプログラムです。相模女子大学の学生とともに参加し、昔ながらの日本の文化である田植えを通じて地域に貢献します。



さまざまな異文化交流を経験し、視野を広げていく

将来の夢や進路を模索する高校生活は、さまざまな文化や価値観に触れることで幅広い視野を身につける重要な場。異文化交流から多様性を知ること、グローバル社会に対応できる力をはぐくみます。さらに、コミュニケーションツールとしての英語を集中して身につけるためのプログラムも用意しています。(研修・留学は希望者対象)

4コースの特色を活かした「つなぐ」体験

・研修旅行

「つなぐ」をテーマに、各コース(p.08)の学習目標に適した体験・課題解決の機会に触れる研修の旅。2年次に全員が参加します。各コースの旅のコンセプトは以下の通り。

アカデミック/世界とつなぐ
グローバル/異文化とつなぐ
ライフサイエンス/自然環境とつなぐ
リベラルアーツ/地域や社会とつなぐ

交流を通じて視野を広げ、多様な価値観に触れる。未知の体験を前にチャレンジ精神を……など、日常生活では得難い経験によって生徒たちがそれぞれの興味や関心を深められる、未来へとつなげられる研修旅行を企画します。

2025年度は、シンガポール(アカデミック、グローバル)、屋久島・鹿児島(ライフサイエンス)、五島列島・長崎(リベラルアーツ)を予定しています。



異文化に触れて多様性を知る

・海外留学生受け入れ制度

国際交流団体を通じて留学生を受け入れています。異なる国で育った生徒たちが毎日の学校生活をともにすることで、互いの習慣や文化への理解を深めます。



・セブ島語学研修

12月中の1週間、フィリピン・セブ島にある語学学校に通うプログラムです。併設の寮に滞在し、生徒のレベルに合わせたマンツーマンレッスンで英語漬けに。アイランドホッピングツアーなど、島ならではのアクティビティも。

・オーストラリア研修

夏季休業中に、西オーストラリア州パースにある中等学校に通う2週間のプログラム。同校生徒宅にホームステイをしながら、生きた英語や雄大な自然を体験します。課外活動では、現地の大学生とも交流します。



・カナダ研修

夏季休業中に、プリティッシュコロンビア州ビクトリアでホームステイをしながら語学学校に通う13日間のプログラム。アクティビティではカナダを満喫、勉強と課外活動のバランスが取れた充実の語学研修です。



・ニュージーランドターム(学期)留学

1月下旬から3月末の9週間(1学期間)、ホームステイしながら現地の高校に通います。現地は夏。課外活動も含め、多様性を尊重した学校生活を体験します。



英会話への躊躇が消えて「とにかく話そう!」と、度胸が芽生えた2週間



高等部3年
西岡さん

ホームステイについては学外の紹介サービスも検討しましたが、やはり信頼できる学内の研修制度を利用。グローバルコース2年の夏、カナダ研修に参加しました。留学生の受け入れに慣れたホストファミリーや語学学校の先生、スタッフがわかりやすい英語で対応してくださったことで、「伝わればいい、とにかく話そう」という度胸が身についた充実の2週間となりました。学校では午前は教室で、午後はスポーツ・レクリエーションで体を動かしながら英会話を。外出時、あわや迷子?となったものの、バスの運転手や地元の人に助けられてなんとか自力で帰宅できたのも思い出です。競技かるた部長である私の夢は「かるたを海外へ!」。今後も英語力を磨くつもりです。

興味・関心と向き合うことから、知らなかった自分に気づく

どのようにして自分を社会に役立てられるかを考えて行動する、社会に役立つ喜びを体感する、自主的に考えて誰かをサポートする……。これらの活動は、今後の人生を豊かにする経験であり、知らなかった自分の志向、可能性に気づくこともできる貴重な機会です。自分を客観視することは、進路選択にも役立つことでしょう。

各コースの特徴を活かして「自ら探究する力」を体得、発表

・マーガレット・クエスト

正解のない問いに対して、課題を発見し、よりよく解決していくための資質・能力を伸長させる。これを目指し、2022年度から「マーガレット・クエスト(MQ)」と題した「総合的な探究の時間」を実施しています。生徒たちは主体的・協働的に取り組む姿勢を培いながら、社会で求められる力を身につけていきます。

1年生は、自らと向き合い、興味・関心を持つ課題を見つけ、多様な視点から物事を見ることを学びつつ解決策を模索しながら、「探究の手法」を身につけます。2年生は、社会に目を向けて課題を設定。その課題を自分事として解決策を模索、各コース(p.08)の特徴を生かした探究に取り組みます。MQ Weekという探究活動週間には、社会で活躍する方々や大学の教授による特別講演を聴いたり、大学、企業、博物館、各地域を訪れ、視野を広げて探究活動を深めていきます。こうして取り組んだ成果を、MQ Awardsでプレゼンテーションし、発信力に磨きをかけます。さらに3年生は、自分と社会の将来に目を向け、どんな社会に生きたいか、どんな道を進みたいかを考えながら探究を進めます。



マーガレット・クエストの成果をより深化させるための特別週間

・MQ Week

7月と12月の年2回、探究の特別活動期間「MQ Week」を設置しています。各方面で活躍する社会人の特別講演、本大学との連携による実習や講義、大学生との交流、他県への探究ツアー、大使館訪問、ミニ学会への参加など、探究心を刺激するさまざまな機会があります。生徒たちは視野を広げ、社会の課題や将来について考えていきます。



探究活動から生まれたまちのコイン「すもー」地域通貨の導入というSDGsに貢献

本校の生徒2名の探究活動をきっかけに、2023年5月、まちのコイン「すもー」が相模原市に導入されました。相模原市が「SDGs未来都市」であるにも関わらず、その認知度が低いことに注目し、相模原市SGDs推進室の担当者にインタビューや地域通貨の必要性についてのプレゼンテーションを実施。相模原市の取り組みを幅広い世代に知ってもらい、一人ひとりが活動できるという意識を広めるため、そして地域を活性化させるために、地域通貨制度の導入を提案しました。晴れて導入となった後も、学園祭(相生祭)で「すもー」普及のためのスタンプラリーを企画、ボランティアとともに登録者拡大に貢献しました。



ボランティア・自主的活動への参加例

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト/おにぎりアクション/衛星データで思考を広げるSDGsオンラインアイデアソン/ポンパドウル×相模女子大学のコラボ商品開発など

好きなテーマは掘り下げるともっと楽しい! 「探究の時間」で実感



高等部3年
大平さん

2年生半ば、興味があるテーマを見つけ、自力で掘り下げる作業が始まった頃から「MQ(探究)の時間」が俄然楽しくなってきました。副部長を務める調理部で毎年販売するアップルパイ、美味しそうに見せるには? より多くの人に買ってもらうには? との考えから「食欲と色の関係」について探究をスタート。MQ Awardでその成果を発表する機会をいただきました。内容はもちろんですが、私たち世代が好む“色”を意識してスライドを作成したり、いくつかの問いを聞き手に投げかけながら全員が参加できるプレゼンテーションを心がけた結果、1、2年生と先生方から多くの得票を得てMQ Award大賞を受賞。管理栄養士を目指す私の「食についての探究」はさらに続きます。



“熱中”を見つけたい！ 充実の学校生活

熱中できる何かに出会えるかどうか。
充実の高校生活を大きく左右する要素は、ここにもあります。
それぞれの役割で輝ける多彩な行事や部活動をご紹介します。



年間行事

自分で考え、 ともにつくり上げる楽しさ

1年を通じて、生徒自らが準備・運営・振り返りを行う数々の学校行事があります。
主体的に関わる姿勢を学びながら、仲間とともにつくる楽しさを実感してほしいと考えます。

4月

- ・始業式
- ・入学式



5月

- ・定期試験①
- ・生徒総会
- ・体育祭



6 7 8月

- ・生徒会役員選挙
- ・定期試験②
- ・終業式
- ・夏期講習
- ・海外研修(希望者)
- ・勉強合宿



10 11月

- ・創立記念日(10月18日)
- ・定期試験③
- ・相生祭
- ・研修旅行(2年生)



9月

- ・始業式
- ・英単語コンテスト
- ・球技大会



12月

- ・定期試験④(3年生は卒業試験)
- ・漢字コンテスト
- ・終業式
- ・冬期講習
- ・海外研修(希望者)



1 2月

- ・始業式
- ・英単語コンテスト
- ・MQ Award
- ・ターム留学(希望者)



3月

- ・卒業式
- ・学年末試験
- ・修了式
- ・スキー教室(希望者)
- ・春期講習



部活動

仲間と過ごす、
かけがえのない時間

心身ともに打ち込める部活動。
仲間と切磋琢磨しながら過ごす放課後は、
授業とは違ったアングルから光を与え、
高校生活をより実りあるものしてくれる
かけがえのない時間となるはず。
あなたの「やりたい!」がきっと見つかります。



【運動部】15部

- 弓道部
県私学大会 個人4位
- サッカー部
県高校新人大会ベスト6
- 水泳部
全国大会出場
- スキー部
全国大会出場
- ソフトテニス部
県大会出場
- ソフトボール部
市民大会優勝
- 体操部
関東大会出場
- チアリーディング部
全日本高等学校チアリーディング
選手権大会19位
- テニス部
県大会本戦出場
- バスケットボール部
関東大会出場
- バドミントン部
県大会ベスト16
- バントワーリング部
全国大会 金賞
- バレーボール部
県大会 ベスト32
- モダンダンス部
全国大会入選
- 陸上競技部
全国大会出場(やり投げ)

【文化部】18部

- ESS部
相生祭発表
- 演劇部
県大会出場
- 科学部
第6期Girls Rocketry Challenge高度競技2位
- 合唱部
県合唱コンクール 銀賞
- 華道部
草月流免状取得、相生祭作品展示
- 軽音楽部
全国大会奨励賞
- 弦楽部
県演奏会出場
- 茶道部
裏千家免許状取得、相生祭お茶会開催
- 写真部
JPS(日本写真家協会)展優秀賞

- JRC部
各種ボランティア参加
 - 書道部
全日本書初め大覧覧会審査委員長奨励賞
 - 吹奏楽部
東日本大会金賞(B編成)
東関東大会銀賞(A編成)
 - 箏曲部
福祉施設訪問演奏
 - 調理部
相生祭販売
 - 美術部
全日本学生美術展 推奨、特選、佳作
 - 放送部
県大会 3部門奨励賞
 - 漫画研究部
部誌発行、相生祭作品展示
 - 競技かるた部
県大会団体優勝、C級大会優勝
- *2019~2023年度の成績

切磋琢磨して、より高く
団体競技ならではの
充実感を味わって



高等部2年
バントワーリング部
中村さん

「バントワーリング部で活躍したい」と本校を志望した私は今、部活を満喫しています。同時に、幼い頃から続けている学外のクラブチーム、特進から進級したグローバルコースでの勉強にもすべて全力で。団体戦がメインとなる部活では大会ごとに全員で目標を設定、切磋琢磨するのは本当に楽しいです。もちろん未経験での入部も大歓迎。私の経験やテクニックをどんどんシェアしたいし、それで高め合えたならこんなに嬉しいことはありません。私自身は今年8月、世界選手権に挑みます!

制服

かわいい!と誇れるブレザースタイル

制服は、伝統的なブレザースタイル。
スカートは、正装用でジャケットと揃いの紺色無地、夏用のチェック柄、
通年用のチェック柄の3種類が用意されています。
正装用の布地はさまざまな紺色の糸を紡いで織られており、品のある装いに。
また、紺色のカーディガンやベスト(紺・白)、半袖ポロシャツ(紺・白)があり、
気候に合わせたコーディネートが可能です。
校章は、マーガレットの紋様。
花言葉である「希望に満ちあふれる清楚な乙女心」をいつも胸に飾り、
大切に育てていきたいと思いますという想いが込められています。



生徒の要望を受け、
生徒会が主体となって
リュック、半袖ポロシャツ、
スラックス、ショートソックスの
導入を手がけました。



1日のスケジュール

充実の毎日を積み重ねたい

高校生活の基本的な1日の流れです。
安全性を配慮した変更を随時行います。

【月曜日】

SHR	8:30 ~ 8:40
1時限	8:50 ~ 9:35
2時限	9:45 ~ 10:30
3時限	10:40 ~ 11:25
4時限	11:35 ~ 12:20
昼休み	12:20 ~ 13:00
5時限	13:00 ~ 13:45
SHR	13:50 ~ 14:00

【火~金曜日】

SHR	8:30 ~ 8:40
1時限	8:50 ~ 9:35
2時限	9:45 ~ 10:30
3時限	10:40 ~ 11:25
4時限	11:35 ~ 12:20
昼休み	12:20 ~ 13:00
5時限	13:00 ~ 13:45
6時限	13:55 ~ 14:40
7時限	14:50 ~ 15:35
SHR	15:40 ~ 15:50

【土曜日】

SHR	8:30 ~ 8:40
1時限	8:50 ~ 9:35
2時限	9:45 ~ 10:30
3時限	10:40 ~ 11:25
SHR	11:30 ~ 11:40



自己発見から始まる進路選択を ていねいにサポート

本当に進みたい道を見極めるためには、得意科目や学力レベルとともに、まずは「自分を知る」こと。必要に応じて教員たちが細かくフォローし、自己発見から進路選択、そして進路実現へと導きます。



進路実現

夢に向かって、具体的な課題を解決していく

見つけた夢を叶えるために進むべき道＝進路を、頼りになる教員たちとともに詰めていきます。克服すべき課題をひとつひとつあぶり出し、必要な実践的アプローチを共有しながら受験に臨みます。

3

評価

結果

行動

新たな目標

進路選択

「こんな私だから、進むべき道はこれ!」を絞り込む

「総合的な探究の時間」も含めた学校生活での経験を、担任や部活動顧問とのコミュニケーションによって自分の進路へと落とし込んでいきます。視野を広げるための実践的・具体的な取り組みを、必要に応じて選ぶことが可能です。

2

評価

結果

行動

新たな目標

結果

行動

目標

自己発見

「私ってこんな人、こうなりたい」を知る

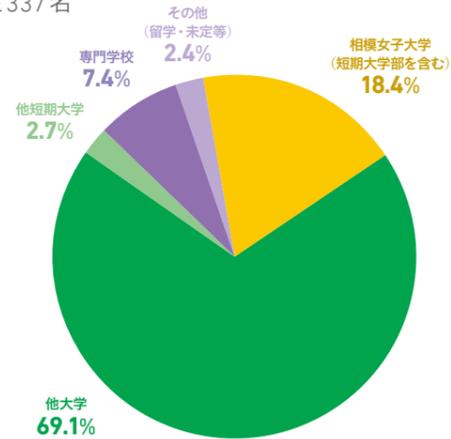
さまざまな経験を積むことからの自己発見をサポートします。「総合的な探究の時間」(p.12)は、1年生では自分の興味・関心に目を向けながら自分で課題を見出すプログラムに取り組みます。探究は自己を発見する絶好の機会であり、これは進路決定にも深く関わっていきます。自分はどういうようにして問題解決を試みるのか、自分はどんなことで喜びや達成感を得られるのか……。そんな自問からも、将来目指すべき方向が明確になっていきます。

1

見つけた夢に向かって新たな一歩を

進学比率

2023年度
卒業生337名



相模女子大学への内部進学

〔内部推薦制度〕

前期推薦(9月)・後期推薦(3月)とともに、人数に制限なく内部推薦制度を利用できます(一定の条件あり)。

〔確約併願制度〕

他大学を第1志望、相模女子大学を第2志望とする場合に利用できます(一定の条件あり)。

〔内部進学入学免除制度〕

高等部から相模女子大学へ進学する場合、大学入学金が免除となります(30万円→0円)。内部推薦、一般選抜、大学入学共通テスト利用など、受験形態は問いません。

〔特別奨学生制度〕

高等部から相模女子大学への進学を第一志望(専願)とし、かつ、高等部3年間の評定平均が一定の条件を満たす場合、大学1年次の授業料の半額が免除となります(2年次以降の継続可否は1年次の成績による)。

学芸学部

日本語日本文学科
英語文化コミュニケーション学科
子ども教育学科
メディア情報学科
生活デザイン学科

人間社会学部

社会マネジメント学科
人間心理学科

栄養科学部

健康栄養学科
管理栄養学科

短期大学部

食物栄養学科

主な大学合格者数(2023年度実績、過年度卒業生を含む)

国公立大学

東京外国語大学	2名	昭和女子大学	8名
東京都立大学	1名	麻布大学	7名
信州大学	1名	桜美林大学	17名
神奈川県立保健福祉大学	1名	神奈川工科大学	5名
神奈川県立平塚看護大学校	2名	神奈川大学	12名
		神田外語大学	1名
		関東学院大学	8名

私立大学

相模女子大学	70名	北里大学	10名
早稲田大学	2名	杏林大学	2名
慶應義塾大学	1名	工学院大学	4名
上智大学	7名	国士舘大学	1名
東京理科大学	1名	国際医療福祉大学	4名
国際基督教大学	1名	産業能率大学	4名
明治大学	2名	芝浦工業大学	3名
青山学院大学	4名	湘南医療大学	1名
立教大学	5名	昭和音楽大学	3名
中央大学	5名	昭和薬科大学	1名
法政大学	6名	洗足学園音楽大学	3名
学習院大学	1名	玉川大学	6名
同志社大学	1名	多摩美術大学	1名
成蹊大学	7名	帝京大学	7名
成城大学	7名	帝京平成大学	6名
明治学院大学	5名	桐蔭横浜大学	1名
國學院大学	5名	東海大学	22名
日本大学	8名	東京医療保健大学	1名
東洋大学	5名	東京工芸大学	5名
駒澤大学	9名	東京造形大学	1名
専修大学	5名	東京慈恵会医科大学	1名
津田塾大学	6名	東京都市大学	6名
東京女子大学	3名	東京農業大学	4名
日本女子大学	13名	東京薬科大学	2名
学習院女子大学	1名	日本女子体育大学	1名
白百合女子大学	1名	日本体育大学	3名
聖心女子大学	2名	武蔵大学	1名
東洋英和女学院大学	2名	武蔵野大学	1名
大妻女子大学	3名	明星大学	6名
共立女子大学	11名	横浜薬科大学	5名
実践女子大学	4名	その他私立大学	35名

本当に進みたい道へ 見極めるのに 「もう遅い」は無い!

東京外国語大学

国際社会学部1年
中里さん

大学では建築学を学んでみたいと特進コースへ。理系の勉強にも順調に取り組んでいたのですが、3年の夏休みに「このままでいい?」と改めて自分に問い直してみたとき、「違うかも……」という思いが。一方で中学時代から興味を抱いていた言語学が俄然、気になり始めたのです。

思いきって先生に相談してみたところ、私の変化には薄々気づかれていたようで(笑)、2学期を前にした文系への志望変更を理解と協力を得ることができました。英語は得意だったので、世界史を大急ぎでブラッシュアップ。受験科目の多い国立大、東京外国語大学に照準を合わせました。

言語学は論理的思考も必要とされる学際的分野だと言われています。つまり、理系の素養も今後役に立つのではないかと。そんな考え方も、「直前での文転」において私の背中を押してくれた気がします。



進路選択、卒業生は語る

一浪も想定内!? 部活で完全燃焼ののち 念願の医療系学部へ

慶應義塾大学

看護学部1年
小西さん

医療系大学への志望を決めたのは、実は中学時代に観た医療ドラマに感動したことがきっかけです。ドクターヘリに乗りたくて(笑)。高等部で特進コースへ進学し、高2では理系を選択しました。特進コースは、「勉強したい!」という熱意に溢れたクラスメイトと一緒に頑張れる環境。お互いに協力し、励まし合える仲間がいたことはありがたかったです。

とはいえ、私が熱中していたのは勉強というより部活(バントワーリング部)。いくつもの大会や海外遠征に向けて、日々練習に明け暮れました。当然ながら、十分な受験勉強ができるはずもなく……。勉強だけに集中する1年間があったといいと割り切っていたので、特に落胆することなく一浪生活に突入しました。最終的には、看護学部へ進学。もちろん、救急医療に携わりたい気持ちは今も変わりません。救急看護師を目指します!

